

施策評価シート(令和2年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (2) 健康づくり・地域医療の充実

(評価担当者)

健康福祉部長 小林 恵太

基本施策が目指す姿

市民一人ひとりが、地域において、生き生きと健康に暮らしています。

関連する分野別計画

亀山市健康・医療推進計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	がん検診の受診率(肺がん)	%	33.2	H27	32.4	31.5	31.0	29.6		35.0
2	がん検診の受診率(胃がん)	%	21.8	H27	22.0	20.9	21.1	16.6		25.0
3	がん検診の受診率(大腸がん)	%	32.9	H27	30.2	29.6	29.0	27.7		35.0
4	医業収支比率	%	77.6	H27	82.4	83.9	86.5	87.1		99.8
5	救急搬送の市内医療機関受入率	%	50.2	H27	47.3	40.7	40.0	41.7		50.0以上
6	国民健康保険被保険者1人当たり医療費の増加率(対前年度)	%	4.1	H27	2.6	3.0	8.1	4.0		4.0以下

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察	
1 健康教室や各種検診の内容が充実している	重要度	1.30	1.25	健康教室や各種検診については、周知啓発を行いつつ、健康マイレージのポイント加算に加える等市民の行動変容を起こす工夫を凝らしたが、満足度が下降しているため、教室や検診の内容のさらなる充実を図る必要がある。医療機関の充実については、新型コロナウイルス感染症への対応として医療センターが地域外来・検査センター及び亀山発熱検査外来を設置したが、満足度は下降しており、市民ニーズを捉えていく必要がある。	
	満足度	0.46	0.44		0.42
2 医療機関が充実している	重要度	1.53	1.51		1.54
	満足度	0.27	0.24		0.39
3	重要度				
	満足度				
4	重要度				
	満足度				
5	重要度				
	満足度				

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>新型コロナウイルスワクチン接種について、ワクチン接種室を新たに設置し、接種計画を策定するなど準備を進めた。また、新型コロナウイルス感染対策本部を設置し、関係機関と連携を図り、市における感染症対策の調整や情報発信を行った。更に新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、インフルエンザ予防接種の自己負担分を全額公費負担とし、接種率の向上及び感染予防に繋げた。</p> <p>救急搬送の市内受入率と医療センター医業収支比率が改善傾向にあることに加え、地域外来・検査センター及び亀山発熱検査外来を設置し、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。医療費適正化の取り組みにより国民健康保険被保険者1人当たりの医療費の増加率は目標を達成しており、これらの状況から総合判定をBとした。</p>

反省点・課題

健康都市として施策を展開していく中で、健康づくりに取り組む市民の意識の醸成や、運動習慣などを通じた身近な健康づくり活動を仲間や地域へと広げる健康環境づくりを進めていく必要がある。疾病の予防と早期発見・治療の推進については、各種がん検診・特定健診等の中で受診率が下降しているものもあるため、受診勧奨については効果的な手法の検討を行い受診率向上を目指す必要がある。また、新型コロナウイルス感染症については、市民への素早い情報発信とともに各関係部署との連絡調整を行い、感染防止対策や免疫力を維持していくための取り組みを推進していく必要がある。さらに、新型コロナウイルスワクチンについては、策定した接種計画に基づき、ワクチンの供給に応じた住民接種を、迅速かつ安全に進めていく必要がある。

今後の展開方針

市民が自分自身で、地域で行う主体的な健康活動を促すための施策を進めるとともに、市民の健康寿命を延ばし健康的で豊かな暮らしが実現できるよう、各種検診(健診)や予防接種の受診率向上を図る。新型コロナウイルス感染症については、引き続き市内における感染者情報や県及び市の取組、感染症予防策等の情報発信を広報やHP、健康講座等を活用し周知啓発に努めるとともに、食生活の改善による健康維持や健康体操の啓発により、市民の基礎的な免疫力の維持向上に向けた取り組みを進め、流行防止を図る。新型コロナウイルスワクチン接種においては、医師会をはじめとする関係機関と連携し、接種計画に基づきワクチン供給量に応じた住民接種を迅速かつ安全に進めていく。さらに、健康都市連合の加盟市として、「健康都市」を評価する指標の作成など、連合が実施する事業に参画していく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		健康な暮らしの支援					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	健康都市連合日本支部の役員として、連合の会議に参画するなど情報共有を行った。感染症予防として特に、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されたことから、定期インフルエンザ予防接種の自己負担分を全額公費とし、接種率の向上に取り組んだ。新型コロナワクチン接種について、ワクチン接種室を新たに設置し、接種計画を策定した。		定期予防接種を勧奨することで引き続き高い接種率を維持でき、また、定期インフルエンザ予防接種については、例年に比べ高い接種率となり地域での流行を防ぐことができた。新型コロナワクチン接種については、医師会等と連携しながら、接種計画に基づき住民接種を進めるための準備を進めた。			
		まずまず進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	3174	高齢者人間ドック・脳ドック事業		標	2,920 / 2,255	A	B
	4002-1	一般事業(保健衛生事業)		標	4,175 / 4,058	B	B
	4072	健康増進事業		標	9,421 / 8,595	A	A
	4005	健康づくり事業		標	2,985 / 1,675	B	B
	4008	予防衛生事業		標	198,241 / 169,422	A	A
事業の取組以外	内容					活動	成果

施策の方向		疾病予防と早期発見・治療の推進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	がん検診、特定健康診査については、受診促進を図るため健康づくりの手引きの全戸配布や広報等通じ広く周知啓発を行った。特に子宮がん検診については、従来からの集団と個別検診に集団的個別検診を追加し、受診率の向上に取り組んだ。		特定健診や胃がん検診等の受診率が減少したが、子宮がん検診については、集団的個別検診を追加し受診体制を整えたことにより、受診率の向上に繋がった。今後適切な受診行動につながるよう、受診勧奨を行う。			
		まずまず進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17041	特定健康診査・特定保健指導事業		主	25,852 / 19,861	B	C
	17042	がん検診推進事業		主	88,693 / 81,978	A	B
	17043	予防接種費用助成事業		主	31,042 / 19,220	A	A
	4076	特定健康診査事業		標	41,788 / 28,746	A	B
事業の取組以外	内容					活動	成果

施策の方向		地域医療提供体制の整備					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	三重大学へ寄附を行うとともに、亀山地域医療学講座より派遣された医師が、市立医療センターをフィールドとして、実際の医療現場で研修医や医学実習生を受入れ、指導・教育活動を行った。また、多職種による在宅医療・介護連携を推進するため「かめやまホームケアネット」の利用促進を行った。		三重大学医学部に寄附講座を設置することで、三重大学との連携をとり安定的に市立医療センターの医師を確保し、地域医療の強化が図られた。在宅医療専門医が市内に開業したこともあり、「かめやまホームケアネット」の新規利用者数が増加し、在宅医療患者に対し、切れ目のないケアが行われた。			
		順調に進んでいる		評価			
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17044	三重大学亀山地域医療学講座支援事業		主	31,200 / 31,200	B	A
	4006	救急医療対策費		標	10,988 / 10,741	A	A
事業の取組以外	内容					活動	成果

施策の方向 医療センターの機能強化と経営健全化							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	開院から30周年を迎え、施設の長寿命化及び安心・安全で質の高い医療を提供するため、自動火災報知設備受信機等の更新工事及び病棟用ベッド、マンモグラフィ装置等の購入を行った。 また、稼働率が高く、医療ニーズの高い地域包括ケア病床を8床増床し、入院収益の改善及び経営健全化を図った。		評価	老朽化した設備の更新をすることにより、施設の長寿命化及び医療センターの機能強化を図ることができた。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により入院患者が減少する中、稼働率の高い地域包括ケア病床を増床し運用したことにより一定の収益を確保することができた。		
		まずまず進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
					/		
事業以外の取組	内容					活動	成果
	亀山地域外来・検査センターの設置					A	A
亀山発熱検査外来の創設					A	A	

施策の方向 安心できる公的医療保険制度の運営							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	国民健康保険事業についてはデータヘルス計画に基づき保健事業を実施し医療費の適正化に取り組んだ。また、適正な財源確保のため、国民健康保険税の収納率向上に取り組み、健全な運営に努めた。また、後期高齢者医療事業については、三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、収納率の向上や医療費の適正化に取り組む、健全な運営に努めた。		評価	医療費の適正化に取り組んだ結果、国民健康保険被保険者の1人当たり医療費の増加率は4.0%となり、目標を達成した。また、国民健康保険税の現年収納率は93.28%、後期高齢者医療保険料の現年収納率は99.58%で、公的医療保険制度の健全な運営を図ることができた。		
		まずまず進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	4005	健康づくり事業		標	2,985 / 1,675	B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果
	データヘルス計画の中間評価の実施					A	A